

ミュージアムショップ新商品「ケヅメリクガメのたまご」発売

足立区生物園 2 階のミュージアムショップにて、ケヅメリクガメのたまごを模した半生チョコレート入りのきな粉菓子「ケヅメリクガメのたまご」を新発売致します。

* 概要 *

足立区生物園では、以前から地元産業の活性化を目指して、区内の企業とのコラボレーション商品を生み出す取り組みをしています。平成 27 年より足立区東保木間にあるきな粉菓子の老舗、渡藤製菓さんのご協力で、生物園オリジナル「ワラビーのおとしもの」を発売しました。

今回は、そんな「ワラビーのおとしもの」に続くコラボ商品として、「ケヅメリクガメのたまご」を発売します。ケヅメリクガメは観察展示室の人気者で、ごはんの時間にはいつも多くのお客様が集まってくださいます。

本商品は、そんなケヅメリクガメの卵をイメージしたきな粉菓子です。当園で飼育しているケヅメリクガメはすべてオスなので、生物園で実際の卵を見ることはできません。ですが、この商品をきっかけに、彼らの生態や当園で飼育している個体に興味を持ち、観察のきっかけにいただければと思います、商品開発に取り組みました。

* 商品情報 *

商品名 ケヅメリクガメのたまご
発売日 10 月 12 日 (土)
販売価格 240 円 (税込)

きな粉菓子のプロ、渡藤製菓さんにとっても初の試みである本商品。半生チョコレートを、アーモンドとカカオを混ぜ込んだきな粉生地で包み、きな粉パウダーをまぶして仕上げました。ケヅメリクガメを始めます。埋められた卵ときな粉をかぶった本商品が似ていることから、コラボレーションとしての閃きを得ました。



↑ケヅメリクガメ



↑ケヅメリクガメのごはんの時間



↑商品画像



■足立区生物園とは



生物園は、「いのち」の営みを続ける生きものたちとの「ふれあい」の場です。飼育する生きものは昆虫、魚類、両生類、は虫類、鳥類、哺乳類など約 300 種 10,000 点以上。工夫を凝らした展示、多種多様な体験プログラム、スタッフの常駐する解説コーナーをご用意しております。来園者のみなさまに生きものとの心温まる交流を通じて、生命の尊さ、すばらしさを感じてもらうこと、そして自然環境の大切さ、自然との"共生"について考えていただくことを目指しています。

■本件に関するお問合せ先

足立区生物園 担当：解説員・上田 楓子 (うえだ ふうこ)
〒121-0064 東京都足立区保木間 2-17-1
TEL : 03-3884-5577 FAX : 03-3884-8996
E-mail : info@seibutuen.jp URL : http://www.seibutuen.jp/

情報掲載・取材していただける場合は、ご連絡ください。